

児童発達支援 事業所における自己評価の結果（公表） （令和2年 7月）

事業所名

夢んぼ

	チェック項目	実施状況	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○：7 △：0	室内を十分に活用し、個別の療育などを実施できるようにしています	
	② 職員の配置数は適切である	○：7 △：0	職員配置は適切です 活動によって職員の配置を工夫しています	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○：7 △：0	ホワイトボードや色分けした名札を使い、自分の場所が分かるようにしています	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○：7 △：0	清掃には気を配り、子どもたちが過ごしやすい環境作りに努めています	子どもたちの視界に気になるものを置かないよう、物の整理整頓に努めていきます
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○：5 △：2	スタッフ間で子どもたちの支援について話をする機会を作っています	全スタッフ間で情報の共有やできるようなツールなどを準備していきます
	⑥ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○：7 △：0	保護者さまからのご意見は集約してスタッフで共有するようにしています	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○：7 △：0	ホームページで公開しています	
適切な支援の提供	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○：5 △：2		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○：5 △：2	研修に参加する機会をできるだけ作るようにしています	現在、コロナの関係もあり参加できていませんが、可能であれば積極的に参加できるようにしていきます。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○：7 △：0	保護者さまとの面談や日常の会話の中からアセスメントを行い、現状を確認して作成しています	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○：7 △：0	共通のアセスメントツールを使用しています	スタッフ間でアセスメントの内容について情報共有をしっかりとしていきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○：4 △：3	生活やコミュニケーションの中での支援計画を立てています	今より細やかな支援目標を作成して、日々の療育や支援に活かしていきます
⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○：7 △：0	支援計画の内容も確認しながら日々の療育に活かしています		
⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○：4 △：3	立案については限られたスタッフではありますがチームで行っています	今後も現場スタッフのチームの中で立案から実施に取り組んでいきます。	
⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○：7 △：0	子どもたちの成長に合わせて活動プログラムの内容をかえています		

	チェック項目	実施状況	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○：7 △：0	個別プログラムと集団プログラムの両方を実施しています	

	チェック項目	実施状況	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○：7 △：0	全スタッフではないですが、前日までの情報やその日にあったことに関しては情報共有と次からの支援について確認しています	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○：7 △：0		
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○：7 △：0	支援記録は毎日、取り組んでいます	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○：7 △：0	定期的なモニタリングは実施して、子どもの成長やご家族の意見も取り入れるようにしています	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○：7 △：0	関係機関を含めた担当者会議を定期的実施しています	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○：7 △：0	連携しています	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○：0 △：7		現在、医療的ケア対象児がいないので、実際の連携はありませんが、今後、必要に応じて関係機関との連携をとっていきます。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○：0 △：7		現在、医療的ケア対象児がいないので、実際の連携はありませんが、今後、必要に応じて関係機関との連携をとっていきます。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○：7 △：0	保育園へ移行していく方、併用している方の関係機関と連携を図って支援しています。	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○：7 △：0	就学前に学校との情報共有の機会を作っています	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○：7 △：0	研修の機会には参加するようにしています	
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○：0 △：7		
	㉙ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○：4 △：3		
	㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○：7 △：0	保護者さまとは情報の連携がしやすいようにしています。	
	㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○：5 △：2		
保護者への説明責任	㉜ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○：7 △：0	契約の際に説明をしています	
	㉝ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○：7 △：0	定期的に支援計画の見直しも行き、その都度、同意をいただいています	

	チェック項目	実施状況	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている ○：5 △：2	保護者さまより、ご相談いただいた場合には状況を伺いながらアドバイスしています。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している ○：5 △：2		コロナウイルスの関係で現在は実施していません。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、そうだなや申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか ○：6 △：1	情報の集約をして、迅速に対応できるように努めています	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している ○：7 △：0	毎月発行の会報やホームページのブログでは毎週活動の様子を掲載しています	
	③8	個人情報の取り扱いに十分注意している ○：7 △：0	個人情報は鍵の掛かる書庫で保管しています。また、事務所にはセコムを入れています	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている ○：7 △：0		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている ○：2 △：5	年に1回の写真展&作品展 地域のイベントに参加しています	
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している ○：6 △：1	マニュアルを策定しています	職員への周知の徹底 訓練の実施回数を増やす
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている ○：5 △：2	1回/6ヶ月事業所としての避難訓練を実施しています	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している ○：7 △：0	フェイスシートでの聞き取りをしています	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている ○：7 △：0	職員間で周知しています	
	④5	ヒヤリハット事例集うを作成して事業所内で共有している ○：7 △：0	ひやりはつとの報告を共有しています	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている ○：7 △：0	虐待防止チェック表の確認、虐待防止の研修に参加しています	虐待防止マニュアルの読み合わせをしています
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している ○：6 △：1	必要な場合には記載して同意を得るようにしています。	
その他	④8			
	④9			
	⑤0			

i 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。